

**授業概要**

領域「言葉」の児童文化財である紙芝居・絵本・ストーリーテリング・劇遊び、及びわらべうた・言葉遊び等について指導する。領域「言葉」の児童文化財の様々な作品に対して、幼児が親しみ興味をもてるような指導力を養成するための指導を行う。また、作品の内容と自分の経験とを結びつけたり想像を巡らせたりすることで、幼児が次第に豊かなイメージをもち、言葉に対する感覚を養うために、作品の教育・保育上の意義、実演する際の事前指導・準備・工夫・事後指導・発展についても指導を行う。研究指導を行った上で、研究テーマを分担して全員が発表を行い、それについて指導を行う。施設見学は、土日に授業を振り替えて行う。

履修条件としては、第1回目の授業に必ず参加すること（授業計画を説明するため）、研究発表を行うこと、土日の施設見学に行くことが必須となる。

**授業計画**

第1回	ガイダンス：領域「言葉」の児童文化財（絵本や物語など）について
第2回	領域「言葉」の児童文化財：物語系児童文化財
第3回	絵本と表現力・想像力・文字を書く力の養成：研究発表と指導
第4回	紙芝居と表現力・想像力・文字を書く力の養成：研究発表と指導
第5回	ストーリーテリングと表現力・想像力・文字を書く力の養成：研究発表と指導
第6回	劇遊びと表現力・想像力・文字を書く力の養成：研究発表と指導
第7回	領域「言葉」の児童文化財：非物語系児童文化財
第8回	わらべうた・言葉遊びと表現力・想像力・文字を書く力の養成：研究発表と指導
第9回	領域「言葉」の児童文化財の指導案
第10回	物語系児童文化財（絵本・紙芝居・ストーリーテリング）を活用した指導案：研究発表と指導
第11回	物語系の児童文化財（劇遊び）を活用した指導案：研究発表と指導
第12回	非物語系の児童文化財を活用した指導案：研究発表と指導
第13回	学外施設見学1（国際子ども図書館等）：絵本・童話・紙芝居等
第14回	学外施設見学2（東京子ども図書館等）：絵本・ストーリーテリング等
第15回	学外施設見学3（ちひろ美術館等）：絵本・童話・紙芝居等
第16回	筆記試験

**到達目標**

領域「言葉」の児童文化財についての指導の後、研究テーマを分担し研究発表を行うことで、理解を深める。また、研究発表後の指導や、他の学生の研究発表からも領域「言葉」の児童文化財と言葉の発達の関係について広く学ぶ。さらには、施設見学においても、領域「言葉」の児童文化財と言葉の発達の関係についての資料や実演等から学ぶ。

**履修上の注意**

領域「言葉」の児童文化財と言葉の発達について興味をもち、作品についての知識、及び作品の教育・保育上の意義、実演する際の事前指導・準備・工夫・事後指導・発展などについて、全員が分担して調査や考察を行い、研究発表を行う。施設見学も行うので、児童文化財への興味・関心を高めてほしい。施設見学は土日に授業を振り替えて行う。

**予習・復習**

研究発表の題材に選んだテーマ及び内容について詳しく調べ、考え、他者の意見等も参考にして資料をまとめる。施設見学を行った際は、レポートを作成する。

**評価方法**

研究発表の資料と発表内容、他者の研究発表内容についての発言、施設見学レポート、期末レポートなどを総合的に評価する。研究発表は、実演をふくめて行う。

期末レポート 50%、課題 30%、授業参加度 20%

**テキスト**

テキストは使用せず、毎回の講義で必要な資料を配布する。